

# 用語説明

## ISO14001(P6\*1)

International Organization for Standardization(国際標準化機構)が定めた環境マネジメントシステム(EMS:Environmental Management System)に関する規格。環境に配慮し、環境負荷を継続的に減らすシステムを構築した組織に認証を与えるというもの。

## 環境パフォーマンス評価(P7\*3)

EPE(Environmental Performance Evaluation)とも呼ばれる。組織の環境行動、実績を定性的・定量的パラメーターを使って評価すること。

## グリーン調達(P8\*1)

環境への負荷が少ない部品・部材を優先的に調達すること。

## 環境負荷改善率(EI値:Environmental Improvement値)(P14\*2)

環境保全に関わる費用に対する環境負荷低減効果(トン-C/億円)環境保全に関わる費用1億円あたり、どれだけ環境負荷量(CO<sub>2</sub>)を低減させたかを示す指標。時系列およびセグメント間での評価を容易にし、環境保全活動の効率を判断することができる。

## 環境負荷利用効率(EE値:Environmental Efficiency値)(P14\*5)

環境負荷量あたりの売上高(億円/トン-C)環境負荷量に対して得られる付加価値(売上高)を示す指標。事業活動における直接的な環境負荷の利用効率を判断することができる(トン-Cあたりの環境負荷を与えて、どれだけ売上高を得たか)。

## LCA(P23\*1)

Life Cycle Assessment(ライフサイクルアセスメント)。製品の一生を通じて、環境にどのような負荷をどの程度かけているかを定量的に評価する方法。

## PRTR法(P27\*2)

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」。企業などが化学物質の排出量および廃棄物としての移動量を行政に報告し、それを公表することにより化学物質・環境汚染物質による環境リスクの削減をはかる。2000年3月より施行。PRTRとはPollutant Release and Transfer Registerの略。

## コ-ジェネレ-ションシステム(P29\*2)

エンジンやタービンの動力によって発電を行うと同時に、排熱を利用して給湯や冷暖房を行い、エネルギーを効率良く使うシステムのこと。

## プラズマ(P38\*1)

電界の中で、自由電子はエネルギーを受けて加速され、中性の分子と衝突して分子の励起、解離およびイオン化をもたらす、プラズマ状態が形成される。プラズマは、全体としては中性を保つ。低温プラズマ領域を今回は利用。

## 触媒(P38\*2)

それ自身が消費されることなく、少量で、熱力学的に可能な反応の速度、選択性、立体規則性を制御する物質のこと。

## ダイオキシン類(P38\*3)

2378TCDDを代表する猛毒の有機化合物の総称で、人工化合物の中では最も毒性が高く、発ガン性や催奇性を持つことが知られている。塩素の数や場所により毒性が異なる。

## 屈曲耐性(P38\*4)

屈曲耐性は、基板に繰り返し曲げを加えた時に、配線が破断するまでの繰り返しサイクルによって評価。従来のプリント基板やビルドアップ基板は、セラミックスや金属で構成された基板と異なり、部品を実装する際や使用時に曲がりやすいことから、基板の信頼性を示す重要な項目の一つになっている。

## ビルドアップ基板(P38\*5)

ビルドアップ基板は、コアとなる従来のプリント基板上に絶縁層と配線層を交互に形成することで微細な配線を実現したもので、ノートPC、携帯電話、デジタルビデオカメラなどで採用され、製品の小型化、軽量化に貢献。

## モーダルシフト(P45\*1)

環境保全(CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>排出抑制など)や省エネルギーのため、貨物輸送をトラックから大量輸送のできる鉄道や海運などに移していくこと。

## リターナブル化(P45\*2)

「リターン(返却)できる」という意味。スチールコンテナをお客さまからご返却いただくことで、くり返し使うこと。